

1月給食だより

令和7年1月
君津市学校給食共同調理場

新年あけましておめでとうございます。調理場では、今年もおいしく、安全・安心な給食をお届けできるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。さて、1月24日から30日まで「全国学校給食週間」となります。そこで今月は、給食の歴史についてご紹介します。

 **1月24日～30日は、全国学校給食週間です！** 

日本の学校給食は、明治22年、山形県鶴岡町（現：鶴岡市）の私立忠愛小学校で提供されたのが始まりとされています。その後、各地に広まったものの、戦争による食料不足で中断されてしまいました。

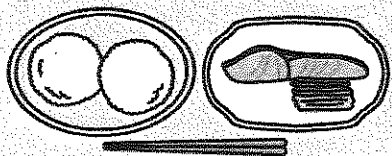
戦後、子どもたちの栄養不足を改善するため、昭和21年にアメリカの支援団体「LARA（アジア救済公認団体）」から、給食用物資の寄贈を受けて、翌年1月から学校給食が再開されることになりました。昭和21年12月24日に、東京都内の小学校で給食用物資の贈呈式が行われたことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、昭和25年度からは、冬季休業と重ならない1月24日～30日までの1週間を「全国学校給食週間」とすることが定められました。



学校給食の移り変わりを見てみよう！

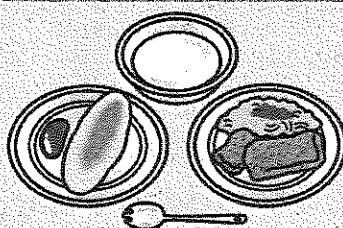


明治22年



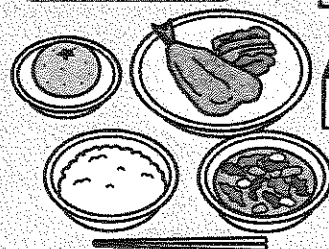
私立忠愛小学校で
提供されたとされる
給食。

戦後（昭和20～30年代）



アメリカから寄贈された
小麦粉や脱脂粉乳を
使った、パン・ミルク・
おかずの完全給食。

現在



地域でとれる旬の食材を取り入れ、
郷土料理や行事食、世界の料理など、
食育の教材となる給食。



全国各地の給食献立集合！

今月は全国学校給食週間にちなんで、全国各地の給食献立を取り入れています。その中でも「生姜コンソメスープ」と「具たくさんちゃんこ鍋風スープ」は、神奈川県川崎市の生徒さんが考案した献立になっています。ほかにも、熊本県の「かつのりサラダ」、山口県の「チキンチキンごぼう」、給食発祥の地である山形県鶴岡市の「じゃがいもと大根のそぼろ煮」の給食献立をお届けします。また、全国の郷土料理も登場するのでお楽しみに！